

サイエンスカフェの多様な展開

サイエンスは社会的インパクトを創造する —エンタープレナーとは？

化学科 上村礼子

1. 目的

社会のグローバル化にともない、国際社会で自己実現する資質・能力として関係形成力が重要であると考えた。今回、アメリカで起業し、さらに後進の若手起業家の支援を行っている久能祐子氏の講演により、グローバルな視点での関係形成力を育成することをねらいとして本サイエンスカフェを実施した。

2. 概要

起業家(バイオテック系)であり、社会起業家、研究者、会社経営者である久能祐子氏をお招きし、10月20日(火)に第4回サイエンスカフェを開催した。生徒22名、保護者11名が参加し、久能氏の話だけでなく、活発な質疑応答が行われた。



写真1 参加者との対話をしながらの講演

海外の大学を志す生徒からの具体的な質問への丁寧な回答や、「成功するためには成功するまで続けること」、「後ろを振り向かない」、「可能性に鍵をかけない」など、メタ認知に関連する話を数多く伺い、参加者全員が未来への勇氣と、新しいことを始めようとする意欲を与えられた。

サイエンスは発見だけではなく、それぞれがお互いになるものをもったチームをつくり、いろいろな人が、多様な意見を出し合っていくことでイノベーションを起こすことができるという内容などはとても参考になった。何より、成功まで続けるという自分を信じる気持ちが重要であるという内容については、参加者アンケートでも反響が大きかった。



写真2 社会的インパクトを与えるエンタープレナーとは

3. 成果と課題

年始にワシントン DC で発行された地元紙(下)で、久能氏は小石川でのサイエンスカフェについて紹介している。自己効力感をもつことの重要性を与えたいという思いで講演をされたということで、昨年印象に残った講演会として、本校でのサイエンスカフェを記事にされている。



ワシントンD.C.の地元紙で小石川でのサイエンスカフェについて「心に残った講演」として紹介された。